

| | | | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|---------------------|--------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 学校教育目標 | 大地と共に育つ子 ~感じる・学ぶ・未来へ~ | | | | | |
| | 【感じる力】 人や自然とふれあい、感じる力 (徳) | | 心を耕し、体を育む力 (徳)(体) | | 【学びに向かう力】 めあてをもち、学び続ける力 (知) | |
| 【未来を創る力】 生き方に学び、自分の生き方を見つめる力 (公) | | 学び合い、学びを広げ、深める力 (知) | | 【未来を創る力】 生き方に学び、自分の生き方を見つめる力 (公) | | |
| 夢や希望をもって、まちに生き、社会とつながる力 (公)(開) | | | | | | |
| 学校概要 | 創立 66 周年 | 学校長 大橋 恵子 | 副校長 伊藤 みつみ | 2 学期制 | 一般学級: 12 | 個別支援学級: 3 |
| | 児童生徒数: 318 人 | | 主な関係校: 岡野中学校 平沼小学校 | | | |

| | | |
|---|--------------------------|---|
| 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 | 中 ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
| <コミュニケーション力> <協働して課題解決する力> <自分づくりに関する力> | 岡野中学校 平沼小学校 浅間台小学校 | ○授業を大切にする姿勢 ○挨拶から会話のできる子ども ○地域の教育力で育ち、地域活動に参加する子ども ☆確かな思考力と判断力をもたせるために必要な学力を授業で身に付けるよう取り組めます ☆心身の発育を意識して取り組める教育課程を編成します ☆自分の考えを話し、相手が納得する説明ができる力を身に付けるようにします ☆折り合いをつける機会を多く経験させ、合意形成が図れるようにします ☆規範意識の醸成が図られるよう、学校行事や教育活動を充実させます |

| | |
|---------------|--|
| 中期取組目標 | 本校の豊かな自然環境やまちの特色を活かした「三耕教育」を実践し、子どもが夢や希望をもって、なりたい自分をデザインしたりまちの一員として発信したり、社会とつながっていることを実感できる学校を目指します。 |
|---------------|--|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|-----------------------------------|--|
| 生きてはたらく 学力 | ①未来に向かって自己実現していく子どもを目指し、新しい学力観に基づいた単元づくりに取り組む。 ②基礎基本を基に、自ら問題を見つけ解決する力をはぐむため、学習や生活の中で探究心を育て解決力を身に付ける指導を工夫する。 ③授業や学習の環境のユニバーサル化を図り、児童が落ち着いて学習に取り組めるようにする。 |
| 担当 B: 学力向上・研究 | |
| 豊かな心 | ①浅間台小マルシェの取組目標を共有して各学年が計画的に栽培活動に取り組み、児童が自然の恵みや自分を取り巻く人々へ感謝する気持ちを保護者や地域に主体的に発信できるようにする。 ②たて割り活動では、年間計画を見直し児童が自分の役割を自覚して、自分も他の人も大切な存在として行動できるようにする。 |
| 担当 C: 人権・児童指導 特活 | |
| 健やかな体 | ①新体力テストの結果を分析し、体育や一校一実践の年間計画のもと体力の向上を図る。 ②身体測定時の養護教諭による保健指導や、学校保健委員会等取組を通して、児童の健康に対する意識を高める。 ③食育全体計画を土地耕の活動と関連付けながら、さらに充実させていく。 |
| 担当 B: 学力向上・研究 体育・食育 | |
| 児童指導 | ①年度始めに児童指導の方向性を全教職員で共有し、一貫した指導を実践する。チームマネージャーを中心としたブロックでの対応を主とすることで、経験によらず、一貫した指導を迅速に行うようにしていく。 ②全職員で共有した児童情報をもとに、どの子も安心して生活できる学校づくりを目指し、個に応じて指導・支援をしていく。 ③チームマネージャーの配置や教科分担制など全職員で児童の健全育成に取り組む。 |
| 担当 C: 人権・児童指導 | |
| 地域連携 | ①児童が路耕の活動の意味を十分理解できるような活動を、教師と講師が連携を取りながら計画・運営をする。 ②児童が社会とつながっていることが実感できるよう、地域の材を活用した教育活動に取り組む。 ③避難訓練と連動した地域防災訓練を行い、防災教育の拡充を図る。 |
| 担当 A: 総務・評価 | |
| 特別支援教育 | ①個別教室の増設に伴い、支援体制の確立とその充実を図る。特に、保護者が特別支援教育の視点から、児童や教育方針に十分な理解がもてるよう取り組む。 ②個に応じた指導を充実させるように支援が必要な児童の共有化を図るとともに、地域療育センター等の関係機関と連携する。 |
| 担当 C: 人権・児童指導 | |
| いじめへの対応 | ①「いじめ防止対策委員会」を月1回以上定期的に開催し、情報を共有する。 ②外部機関との積極的な連携を推進する。 ③低中高別にチームマネージャーを配置し、いじめの未然防止、早期発見に努める。 |
| 担当 C: 人権・児童指導 | |
| 人材育成・ 組織運営 (働き方改革) | ①チームマネージャーが、学校方針に基づいた視点でブロック運営をすることで、学校教育目標に基づいた教育を行えるような人材を確実に育てる。 ②校務分掌を改善し、課題解決に向け自ら学び、学校経営の改善に向け主体的に発信できる人材の育成を推進する。 ③働き方改革: 全体を見通した計画的な校務の執行を推進するとともに個々に指導をしていく。 |
| 担当 A: 総務・評価 | |